

令和8年度 美術 各単元（題材）における観点別の評価基準

2 学年

	指導計画及び指導内容	各観点における評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・その一枚が心を動かす ・ポスターの制作を通し、形や色彩などを効果的に使い、ポスターカラーの特性を生かし、伝えたい内容やイメージを表現する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーションや、文字などの形や色彩、構成などに着目し、伝達のイメージなどをとらえ、絵の具などの特性を生かし、見通しをもって表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容やイメージ、伝える場面などを基に、形や色彩などによる伝達の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを整理し、形や色彩などの効果を考えて印象に残るポスターなどをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 日本の伝統工芸 ・日本の伝統工芸品について学び、使う目的のあるものの機能と美しさの調和について、見方や感じ方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な特徴などを基に、伝統工芸品のイメージ+や作風などを捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、創造的な工夫などについて見方や感じ方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸の歴史や表現の特色などを理解し、生活の中のデザインや工芸に関心を深めることができる。 ・伝統工芸作品を鑑賞し、それぞれの作品の特徴や良さを感じ取りながら取り組んでいる。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージを形にすると ・抽象的な彫像の制作を通し、主題を生み出すこと・用具や材料の特性・制作の順序を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・彫像の特性を理解し、用具や材料を適切に使い、制作の順序を総合的に考えて表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生み出し、造形的な効果を考え構想できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・彫像の制作に興味をもち、意欲的に、根気強く取り組むことができる。 ・抽象的な作品の良さを理解し、積極的に自身の制作に生かしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・つくる・使う・材料を味わう工芸 ・紙製の工芸品の制作を通し、目的に応じて用具や材料、形や色彩などを効果的に扱う力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の特性や質感、加工方法に着目し、紙の持ち味を捉え、材料や用具の特性などを生かし、見通しをもって表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に、鑑賞したり、発想を広げたりして、工芸作品の構想を練ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の特性や機能性などを生かしてつくることに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・思いが飛び出すカード ・ポップアップカードの制作を通し、紙や刃物の特性・伝達の効果と美しさなどの調和について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、紙などの性質やそれらが感情にもたらす効果を理解し、用具の特性を生かして表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達の効果と美しさなどの調和を考え、どのようなカードにするか構想できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なものの見方を持って発想し、デザインを工夫しながら、制作への意欲を高めることができる。 ・多様な表現の違いや良さに気づき自分の作品のイメージを創造できている。